

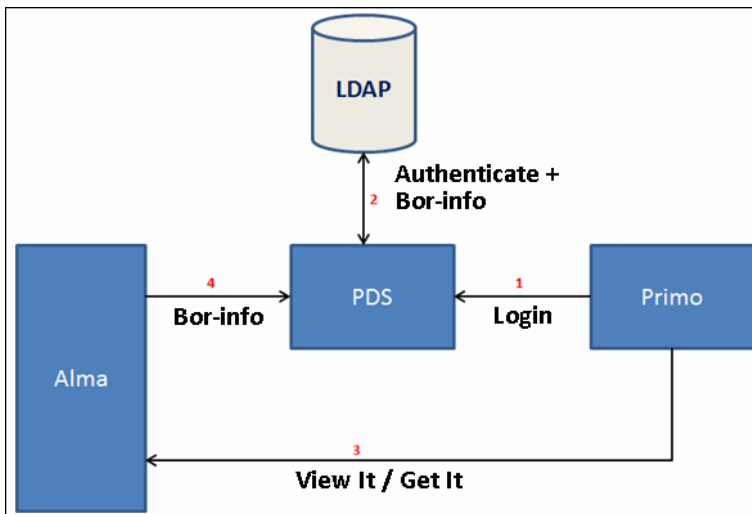
関連サービスを提供するユーザーを識別

Note

PDSはPrimoVEには適用されません。Primo VE認証の詳細については、[認証設定](#)を参照してください。

[メニューに戻る](#)

下図は、AlmaとPrimoのPDSの間で使用される承認/認証プロセスを示したものです。



Alma-Primoの認証フロー

Almaは、[Get It]や[View It]リクエストを受信した後、PrimoのPDSに次のbor-infoリクエストを送信します。

```
http://primol.staging.alma.hosted.exlibrisgroup.com:8991/pds?func=bor-  
info&calling_system=urm&pds_handle=12345678
```

Almaは、次のXML応答を受け取ります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>  
<bor>  
  <bor_id>  
    <id>exl_support</id>  
    <handle>23820123442435521060831483217</handle>  
    <institute>university</institute>  
  </bor_id>  
  <bor-info>  
    <id>exl_support</id>  
    <institute>university</institute>  
    <name>exl_support</name>  
    <group>STAFF</group>
```

```
</bor-info>
</bor>
```

PDS bor-infoからのID属性は、Almaのユーザー詳細ページで定義されるプライマリ識別子と一致する必要があります(「[ユーザーの管理](#)」を参照)。

PDS設定

このセクションでは、AlmaがPrimoのPDSとやりとりするために必要な設定について説明します。AlmaとPrimoのサンドボックスに関する情報については、「[Almaのサンドボックス環境](#)」および「[Alma-Primoのサンドボックスの統合](#)」を参照してください。

PDSのURLの設定

ユーザーを識別するには、Almaは適切なPDSサーバーを指し示す必要があります(上図の4を参照)。これは、`primo_pds_url`パラメータでPDSのURLを入力することで設定されます(「[その他の設定](#)」を参照)。

たとえば：

```
http://primo.exlibrisgroup.com/pds"?
```

または

```
https://primo.exlibrisgroup.com/pds?
```

Note

URLの末尾に疑問符(?)があることを確認してください。

PDSのbor-info関数の設定

PDSでは、bor_info関数を設定して、次の必須フィールドを取得する必要があります。

- 名前 – ユーザー名
- ID – ユーザーID
- **email_address** – ユーザーのEメールアドレス
- 機関 – 機関コード

これは、特にLDAP認証を使用する場合に確認する必要があります。上記を設定するには、「[ユーザーディレクトリサービスガイド](#)」を参照してください。

PDS設定をテストするには：

1. Primoのフロントエンドをブラウザで開きます。サインインはしないでください。
2. 検索を実行します。
3. 結果の概要で、**[Get It]**を選択します。

リクエストオプションは表示されず、次のメッセージが「Get It」タブに表示されます。

リクエストオプションを見るには、サインインする必要があります

4. [サインイン]を選択し、ログイン情報を入力します。
5. 検索を実行します。
6. 結果の概要で、[Get It]を選択します。

リクエストオプションが表示され、サインイン用のメッセージは表示されなくなります。オプションが表示されない場合、PrimoサーバーのPDSログを確認して、bor-infoリクエストがAlmaから送信されたかどうか、必要な属性(名前、機関など)がbor-info応答に含まれているかどうかを確認します。

7. [マイアカウント]を選択し、[個人設定]タブを選択します。

ユーザー詳細が表示されます。表示されない場合、PrimoサーバーのPDSログを確認して、bor-infoリクエストがAlmaから送信されたかどうか、必要な属性(名前、機関など)がbor-info応答に含まれているかどうかを確認します。